

目的

県民一人ひとりが交通ルールの遵守と交通マナーの向上及び交通環境の改善に取り組むことにより、交通安全思想の普及と浸透を図り、交通事故を防止することを目的とします。

運動の進め方

実施機関・団体は、相互に連携して地域や組織・団体の特性を生かした計画を策定して積極的に取り組み、県民総参加の運動として展開されるよう努めましょう。また、運動終了後もこの取り組みが持続されるよう努めましょう。

重点1 高齢者の交通事故防止

1. 推進項目

高齢者自身の交通安全意識の浸透を図るとともに、高齢者に優しい環境づくりを目指して次の項目を推進します。

- (1) 反射材の利用促進
- (2) 高齢者に対する保護気運の醸成
- (3) 効果的な交通安全教育
- (4) 安全な交通環境づくり



2. 実施項目

■高齢者は…

- 外出する際は、反射材の付いたものを着用するなど、運転者から見えやすい服装に心掛けましょう。
- 高齢運転者は、自分の身体能力や体調に合った運転に努めましょう。
- 警察や自治体などが開催する交通安全講習会等に参加しましょう。

■地域・職場では…

- 地域全体で高齢者を守ろうとする気運を高めましょう。
- 職場の朝礼や出発時の声かけなどで、思いやりのある運転を指導しましょう。
- シルバーゾーンなど、高齢者が多く利用する地域の安全点検を行いましょう。

■運転者は…

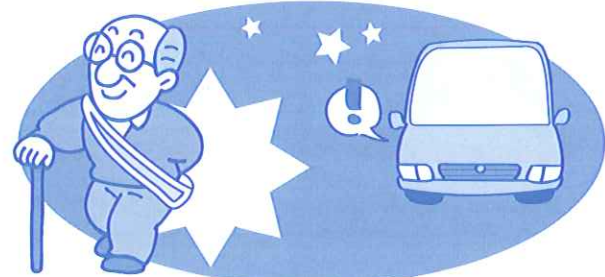
- 歩いている高齢者の近くを通過するときは、減速、徐行するなど“思いやり”のある運転に心掛けましょう。
- 「高齢運転者マーク」の付いた車に対しては、幅寄せ、無理な追い越しなどをせず、余裕ある運転に心掛けましょう。

■家庭・学校では…

- 高齢者が外出する際は、車に注意するよう声を掛けたり、明るく目立つ服装や反射材を着用するよう促しましょう。
- 交通危険箇所や道路を通行するときの危ない行動などを話し合い、交通安全の意識を高めましょう。

■実施機関・団体では…

- 街頭で高齢者への積極的な保護・誘導を行いましょう。
- 交通事故の発生実態を踏まえた広報啓発活動を進めましょう。
- 各種会合のときなどいろいろな機会を通じて、交通安全教育を推進しましょう。



重点2 飲酒運転の根絶

1. 推進項目

飲酒運転の悪質性・危険性をはじめ、交通事故の悲惨さを広く県民に訴え、県民一人ひとりに飲酒運転根絶意識が浸透するよう次の項目を推進します。

- (1) 飲酒運転根絶のための広報啓発
- (2) 飲酒運転根絶のための環境づくり
- (3) 飲酒運転根絶のための交通安全教育



2. 実施項目

■運転者は…

- 少しの量でも、酒を飲んだら絶対に運転はやめましょう。
- 酒を飲むことが分かっているときには、その日は公共機関を利用するなど、車を運転して行かないように心掛けましょう。
- 前日の酒が体に残っている状態で運転すれば飲酒運転になることを認識しましょう。

■実施機関・団体では…

- いろいろなメディアを活用して、飲酒運転根絶の広報を推進しましょう。
- 飲酒ゴーグルなどを活用した参加・体験型の講習を実施し、危険性についての認識を高めましょう。
- 運転者への酒類提供、飲酒者への車両提供、飲酒者が運転する車両への同乗は違反であることを広報しましょう。

■家庭・学校では…

- 飲酒運転の危険性、交通事故の悲惨さを日頃から話し合ひましょう。
- 車を運転する人には、絶対に酒を出さないようにしましょう。
- 酒を飲んだときの迎えなど交通手段について、家庭で話し合っておきましょう。

■地域・職場では…

- 地域のイベントや会合で「飲むなら乗るな、飲んだら乗るな」などの飲酒運転根絶意識の浸透を図りましょう。
- 職場で飲酒運転の悪質性を話し合ったり、アルコールチェッカー等を利用するなど、「職場から飲酒運転違反者を出さない。」といった規範意識を高めましょう。
- 飲食店などの酒類提供業者は、運転する客に酒類を提供しないようにしましょう。

注意！ 飲んだ翌日の飲酒運転

「車内で仮眠をとって酔いをさました」「一晩寝たから酒は抜けていると思った」
こんな日中の飲酒運転が増えています。

一晩寝たから大丈夫ではとおりません！

知っていますか？アルコールの知識 それぞれのアルコール1単位の目安

チュウハイ 350ml 1単位	焼酎 100ml 1単位	ビール 500ml 1単位
-----------------------	--------------------	---------------------

例えば…

左記の合計3単位を飲むと
1単位のアルコールが抜ける
(分解される)には、
約4時間かかります。

8時間寝たからといって
アルコールが身体で分解
されるのは2単位分です。

つまり翌朝は
1単位残っている
2日酔い状態なのです。

お酒を飲むときは翌日の仕事を考えて、寝ている間にアルコールが分解される適度の量を飲みましょう。

注:) 体内でのアルコールの処理は体重1kgにつき、1時間で0.1グラムという速度です。たとえば体重60kgの人が1単位処理するには3～4時間かかります。体重60kgの人が飲酒して8時間後に勤務したとします。2単位ならアルコールは検出されませんが、3単位だと…？検出されることになりすね。これはあくまでも目安です。日頃の飲み過ぎがたたって肝臓が弱っていたり、風邪薬を飲んでいたりしたら、アルコールの処理はもっと時間がかかるかもしれません。

つまり、
3単位×4時間＝12時間
まだ体内には約1単位分の
アルコールが残った状態なのです。

重点 ③ 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

1. 推進項目

全ての座席のシートベルトとチャイルドシート着用が義務化され、その着用を定着させるために次の項目を推進します。

- (1) 全ての座席のシートベルト着用徹底のための啓発
- (2) シートベルトとチャイルドシートの着用効果の周知
- (3) チャイルドシートを車に正しく装着・使用するための啓発

注：) 昨年、四輪乗車中の死者17人のうち、シートベルト非着用で7人の方が亡くなっており、そのうち5人(71%)はベルトを着用していれば生存可能であったと推定されます。(県警資料による。)



2. 実施項目

■運転者は…

- 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用を徹底しましょう。
- チャイルドシートは、幼児の体格に合ったものを使用しましょう。
- チャイルドシートは、正しく取り付けましょう。

■地域・職場では…

- 朝礼や各種行事においてシートベルトとチャイルドシートの着用効果について周知を図りましょう。
- シートベルトの着用について繰り返し指導し、全ての座席で着用を徹底しましょう。
- 出勤・退社時に、シートベルト着用の点検を行うなど着用の徹底を図りましょう。

■家庭・学校では…

- シートベルトとチャイルドシートの着用効果について、家族みんなで話し合い、正しい着用の実践とその習慣づけを図りましょう。
- 保護者に対しシートベルトとチャイルドシートの必要性や効果等を指導し正しい着用を呼びかけましょう。

■実施機関・団体では…

- あらゆるメディアを活用して、全ての座席のシートベルト着用が義務付けられていることを広報しましょう。
- チャイルドシート着用時の安全性能が大きく向上することなど、着用啓発につながる情報の提供に努めましょう。
- 講習会などでシートベルトの着用効果について啓発を図りましょう。

県下統一行事

7月11日(月)	広報活動強化の日	歩行者やドライバーに交通安全運動への積極的な参加を呼びかけます
7月15日(金)	飲酒運転根絶啓発強化の日	飲酒運転の根絶に向けた啓発活動を行います。
7月19日(火)	保護誘導活動強化の日	子どもや高齢者等の保護誘導活動を推進します。
7月20日(水)	街頭指導活動強化の日	ドライバーや歩行者、自転車利用者に対する街頭指導を強化します。

平成23年長崎県交通安全年間スローガン

守ろう交通ルール 高めよう交通マナー

平成23年

夏の交通安全県民運動

実施要綱

実施期間

7月11日(月)～7月20日(水)

スローガン

反射材つけて輝く身の用心



交通安全図画最優秀作品(平成22年度知事賞)
佐世保市立大野小学校4年(当時)

宮崎 奏実 さんの作品

重点

- 高齢者の交通事故防止
- 飲酒運転の根絶
- 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

特別広報

夕暮れ時における早め点灯、雨天・曇天時の点灯



主唱 長崎県交通安全推進県民協議会